

## 第6回クリーンセンター環境運営委員会議事録要旨

### 1 日 時

平成24年12月14日（金） 午前10時から午前11時20分まで

### 2 場 所

秦野市伊勢原市環境衛生組合会議室

### 3 出席者

- (1) 委員（8名）
- (2) オブザーバー（2名）
- (3) 事務局（3名）

### 4 内 容

#### (1) 議題

##### ア クリーンセンター環境運営委員会の議事録等について

- ・ 第4回クリーンセンター環境運営委員会議事録について、委員等に事前に確認していただき、指摘のあった箇所を修正した内容で議事録を提出し、これが了承された。

また、議事録を本組合ホームページに掲載することについて了承された。

- ・ 第5回クリーンセンター環境運営委員会において、静岡県袋井市の中遠クリーンセンターを視察した内容をまとめたものを提出し、指摘等あれば次回の委員会までに連絡していただくようお願いした。

##### イ 試験運転（負荷調整運転）状況について

- ・ はだのクリーンセンターでは、排ガスの自主管理基準を設けているがこれらの基準については、どのように扱ったらよいのか県の考え方を教えていただきたいとの質問があり、オブザーバーから焼却炉の場合は、環境アセスメントを実施する関係から法律より厳しい自主管理基準を設定するケースが多く、これを県へ届出した場合は、この基準を停止基準とする。また、県では年に1回から2回立入検査を実施し、一時間平均値などの一定数値ではなく、トレンドグラフなどにより数

値の挙動の確認を行っているとの説明があった。

- ・ 発電した電気を東京電力に売る場合、キロワット当たりの単価はどのくらいかとの質問があり、平成24年度においては、午前8時から午後10時までの時間帯は、キロワットアワー当たり7円20銭で、それ以外の時間帯は、3円50銭になると回答をした。

## (2) その他

- ・ 煙突の内筒と外筒の材質は何か、また、外筒の表面は耐熱タイルなのかとの質問に対し、2本の内筒はステンレス製、外筒は鉄骨コンクリート造となっている。なお、内筒に断熱材を巻いているため、外筒に熱が伝わらない構造になっていると回答をした。
- ・ はだのクリーンセンターの試験運転（負荷調整運転）において発生した焼却灰の放射能濃度測定を実施したところ、放射性セシウムについては、主灰は33.6Bq/kg（ベクレルパーキログラム）、飛灰は139.4Bq/kgで、放射性ヨウ素については主灰、飛灰ともに定量下限値で不検出という結果であり、環境省が定める「一般廃棄物焼却施設における焼却灰の測定及び当面の取扱いについて（平成23年6月28日）」による、埋立処分のできる基準8,000Bq/kgを大幅に下回っていることを報告した。
- ・ 御門自治会以外の周辺13自治会を当委員会に加えることの是非について、事務局から発議したところ、当初から御門自治会会員、秦野市職員及び二市組合職員の現状のメンバーで進めてきた中で、今、他の自治会を入れなければ、当委員会の目的を達成できないということはないため、当分は現状の構成で運営すればいいのではないかとの意見があり、これが了承された。
- ・ 曾屋高校前の通過車両進入禁止としている道路は、はだのクリーンセンターへ搬入する収集車でなくても、通らないようにしてほしいとの要望に対し、10月のごみ搬入説明会で資料により説明したほか、クリーンセンターニュースでも周知しており、原則、移動で通行している車両はないと思われる。何か気になることがあれば連絡をいただくことで、しばらく様子を見ていただきたいと秦野市から回答があった。
- ・ 次回の委員会までに点検マニュアルを閲覧させてほしいとの要望が

あり、点検マニュアルは引渡しの日には提出されることとなっているが、事前の閲覧について調整する旨の回答をした。

- 第7回委員会は、平成25年1月23日（水）午前10時から開催することとなった。